

第1回 田原本町基本構想審議会 議事録

日時： 2026 年（令和 8 年）2 月 27 日（金） 13:00～14:00

場所： 田原本町役場 3 階 301・302 会議室

【出席者】（敬称略）

<審議会委員：出席 15 名>

- 上村 敏之（関西学院大学経済学部教授） ※会長
- 清水 裕子（畿央大学健康科学部准教授） ※職務代理者
- 植田 昌孝（田原本町議会議長）
- 持田 尚顕（田原本町議会総務文教委員会委員長）
- 村上 清司（田原本町議会厚生建設委員会委員長）
- 眞田 和則（田原本町教育委員会教育長職務代理者）
- 松村 宙亨（田原本町人権教育推進協議会会長）
- 小林 祥孝（田原本町自治連合会副会長）
- 服部 誠（一般社団法人田原本まちづくり観光振興機構理事）
- 酒井 茂広（田原本町農家代表者会会長）
- 山田 章生（奈良中央信用金庫地域産業創造部部長）
- 鋤田 芳嗣（社会福祉法人田原本町社会福祉協議会会長）
- 松原 香奈子（無作為抽出型公募委員）
- 川崎 聖子（無作為抽出型公募委員）
- 鈴木 酉治（無作為抽出型公募委員）

<審議会委員：欠席 6 名>

- 村田 稔治（田原本町民生児童委員協議会会長）
- 吉川 眞司（田原本町商工会会長）
- 小畠 秀之（田原本町医師会会長）
- 山岡 佐規子（田原本町地域婦人団体連絡協議会会長）
- 下山 千恵（田原本町 PTA 連合会会長）
- 中川 真治（株式会社南都銀行田原本支店支店長）

<町側・事務局等：16 名>

- 高江 啓史（田原本町長）
- 工藤（副町長 / 総合計画策定委員会委員長）
- 大村（教育長 / 総合計画策定委員会副委員長）

- 中辻（町長公室長）
 - 森恵（総務部長）
 - 吉田（住民福祉部長）
 - 田邊（産業建設部長）
 - 森（教育部長）
 - 寺井（町長公室・産業建設部・教育委員会事務局参事）
 - 越智（総務部参事）
 - 合田（企画財政課長）
 - 三上（企画財政課課長補佐）
 - 堀川（企画財政課政策企画係主査）
 - 岡田（企画財政課政策企画係主事）
 - 小瀬村（一般社団法人構想日本）
 - 秋元（一般社団法人構想日本 ※ウェブ参加）
-

【議事内容】

1. 開会

- 合田 課長より開会が宣言された。

2. 町長挨拶

- 高江 啓史 町長： 委員就任および出席への感謝を述べる。基本構想は10年の計画であり、20年、30年先を見据えて来年度からの10年間をどう歩むかを議論する重要な会議である。人口減少社会において「いかに幸せを感じられるまちをつくることができるか」を問い続け、都市の活力や利便と田園のゆとりや人のつながりが調和した「ちょうどいい幸福田園都市」の実現に向けた思いを述べ、委員への協力を要請した。

3. 委員・関係者紹介

- 事務局より、出席委員15名の紹介、欠席委員6名の報告が行われた。定足数（半数以上）に達しており、本審議会が成立していることが確認された。
- 続いて、町側幹部職員、事務局員、および策定支援を行う一般社団法人構想日本の担当者が紹介された。

4. 会長選任

- 委員の互選について、服部 委員より「事務局に一任する」との動議が出され、全会一致で承認された。
- 事務局案として、行財政分野の専門家であり豊富な知見を有する上村 俊之 委員が推薦され、承認された。
- 上村 会長の指名により、職務代理者として清水 委員が指名され、了承された。

5. 諮問

- 高江 町長から上村 会長へ「田原本町第5次基本構想」に関する諮問書が手渡された。その後、町長は退席した。

6. 議事（上村 会長進行）

（1）第5次総合計画の策定概要および全体スケジュールについて

- 事務局（三上 課長補佐）説明：人口減少を前提とした「縮充」への転換を図り、住民の幸福度最大化を目指す方針を説明。無作為抽出の住民協議会による「共創自治」のプロセスを重視し、行政職員自らの言葉で作成するスリムな計画書への刷新を行うこと、および今後のスケジュールについて説明した。
- 質疑応答：特になし。

（2）住民アンケート及び住民協議会の中間報告について

- 事務局（三上 課長補佐）説明：アンケート（有効回答800件）から、50代以上は医療・介護、若年・子育て世代は経済・環境への不安が強いこと、また防災・交通・産業領域が「重要度が高いが満足度が低い」ことを報告。住民協議会からは、自助・共助・公助の視点に基づき「緩やかなつながりの許容」「余白のある場」などの提言があった旨を共有した。
- 質疑応答・意見交換：

- 持田 委員： アンケートの調査期間の確認と、19 歳以下の回答割合が 4%と低い点について、各年齢の配布割合を質問。
- 合田 課長： 調査期間は令和 7 年 9 月 12 日～10 月 10 日。15 歳以上を対象とし、年代ごとの人口比率を勘案して無作為抽出している旨を回答。
- 鈴木 委員： 若年層の関心が低いと誤解されないよう、年代別の「回答率（配布数に対する回答数）」も分析して示すべきと提案。
- 上村 会長： ご意見として受け止め、事務局にコメントを求めた。
- 合田 課長： データ整理の上、後日提供すると回答。
- 清水 委員： 計画推進の両輪となる「企業」や「行政職員」の思いに乖離がないかを確認するため、職員向けの意向調査の実施を提案。
- 合田 課長： 庁内体制での意見集約は行っているが、全職員向けアンケートの実施については検討すると回答。
- 上村 会長： 「貴重なご意見として承り、今後検討していくこととしましょう」と議論をまとめ、次の議題へ進行した。

(3) 第 5 次総合計画の台割（構成案）について

- 事務局（三上 課長補佐）説明： 計画書全体のボリュームを 40～60 ページ程度に半減し、基本計画を「1 施策 1 ページ（約 20 ページ）」に凝縮する案を提示。写真や図解を多用し、住民との対話のきっかけとなる直感的なコミュニケーションツールを目指す方針を説明した。
- 質疑応答・意見交換：
 - 植田 委員： 職員自らが作成する方針は心強い。誰が見ても分かりやすい計画書となるよう強く要望した。
 - 上村 会長： 自身も計画策定の経験があるが、最近は職員自ら作成する自治体も一部出てきており、完全に事例がないわけではない旨を補足し、意見として承った。

- 松原 委員： 完成した計画書が、具体的にどのような形で住民の目に届き、手に取れる状態になるのか、公開や配布の手法について質問。
- 上村 会長： 「今すぐ事務局から回答を出して終わるものではなく、今後この審議会や住民協議会で議論していくべき非常に重要な論点である」と位置づけた。
- 服部 委員： 京奈和自動車道の整備等を見据え、駅周辺を単なる通過点ではなく、人が行き交う拠点とする視点を構想に組み込んでほしいと要望。
- 上村 会長： まちづくりに関するご意見として、今後本審議会や協議会等で議論していくテーマであるとまとめた。
- 眞田 委員： 20 ページでも読まれない可能性があるため、A4 裏表 1 枚程度の概要版ポスターをスーパーや駅に掲示し、詳細は QR コードで誘導するなどの工夫を提案。
- 上村 会長： 他の自治体でもイラスト主体のポスターと QR コードを併用する事例はあると紹介。今後の議論事項とするとともに、「『行政にやってください』と要望するのではなく、『私たちでこうやりましょう』という当事者意識を持った会にしていきたい」と、本審議会の姿勢について重要な見解を述べた。
- 山田 委員： 次回以降の審議において、事前に案の資料を共有してほしいと要望。
- 合田 課長： 事前に目を通せるよう資料を共有する体制をとると回答。
- 持田 委員： 台割案における「基本方針」と「基本計画」の記載が重複しているのではないかと指摘。
- 上村 会長： 行政側が一旦案として出している段階であると整理し、事務局へ回答を促した。
- 合田 課長： 現行の 6 つの目標体系を念頭に置いた案であるが、ご指摘を踏ま

え今後の議論の中で整理すると回答。

- 上村 会長：あくまで原案であり、本審議会や住民協議会での議論を踏まえて今後変更していく可能性があるまとめた。

7. その他・閉会

- 合田 課長より、次回（第2回審議会）の開催日程について、4月10日（金）午前10時から正午まで、同会議室（本庁舎3階 301・302 会議室）にて開催する旨が案内された。
- 以上をもって、第1回 田原本町基本構想審議会が閉会した。